

会議録（要点筆記）

会 議 名	令和元年度 第2回 八王子市生涯学習審議会	
日 時	令和元年8月5日（月） 午後6時30分～午後8時00分	
場 所	八王子市生涯学習センター 10階 第2学習室	
出席者氏名	委 員	三浦 眞一会長 小林 正博 丹間 康仁 戸村 恵美子 中嶋 昭江 中西 栄 町田 浩一 炭谷 晃男 清水 澄 山崎 領太郎
	説 明 者	塩澤生涯学習政策課主査 西尾南大沢図書館主査
	事 務 局	安達生涯学習政策課長 新堀学習支援課長 太田中央図書館長 新納生涯学習センター図書館長 中村南大沢図書館長 福田川口図書館長 鶴田学習支援課長補佐 高木生涯学習政策課主査 塩澤生涯学習政策課主査 西尾南大沢図書館主査 植村生涯学習政策課主任 川久保生涯学習政策課主事 平野生涯学習政策課主事 井口生涯学習政策課主事
欠 席 者 氏 名	石川 智子 村上 ひろみ 新野 照代	
議 題	(1) 八王子市生涯学習プラン（平成27～31年度）平成30年度生涯学習関連事業評価 (2) 報告① 生涯学習プラン策定の進捗状況について (3) 報告② 第4次読書のまち八王子推進計画策定の進捗状況について	
公開・非公開の別	「公開」	
非公開の理由		
傍聴人の数	「なし」	
配付資料名		
会 議 の 内 容	<p>議案案件 八王子市生涯学習プラン（平成27～31年度）平成30年度生涯学習関連事業評価について</p> <p>平成30年度に各所管におきまして実施した生涯学習に関連する事業、計497件に対する各所管での自己評価に対して、基本施策1から4及び全体にわたる評価についての生涯学習審議会としての評価案を作成した。</p> <p>（事務局）平成30年度に各所管において実施した生涯学習に関連する事業、計497件に対する各所管での自己評価に対して、基本施策1から4及び全体にわたる評価として、生涯学習審議会としての評価案を作成した。</p> <p>基本施策1「子どもの頃から始める学びの基礎づくり」について、「様々な分野の講座や自然体験、国際交流などの学びの体験を提供し、子どもたちに豊かな人生を歩む基礎づくりができる事業の展開の多様性が良い」「現代の子どもたちにとって何が大切かしっかり捉えられている」「保護者が来られなくても、子どもだけで参加できるような体験学習の機会が設けられればという風に思う」というような意見をいただいている。また、「親子での参加だけではなく、高学年であれば子どもだけで参加できるものや一人親世帯の子どもの参加募集の仕方の工夫がされたものが増えていくといいと思う」</p>	

「高尾山があり、浅川があり、体験学習の機会には恵まれている地域なので、地域の特性を活かした事業があればと思う」「八王子の文化や自然、伝統芸能などを活かした体験型の学習が今後も増えていくといいと思う」「親御さんの目を生涯学習に向けさせることが肝要ではないかと思う。そのためにも SNS の活用は今後欠かせなくなると思う」といった意見もあった。これらの意見を踏まえて、生涯学習審議会による評価案として、「様々な分野の講座や自然体験、国際交流などの学びを体験する機会を提供し、子どもたちに豊かな人生を歩む基礎づくりができる事業が充実している。現代の子どもたちにとって、何が大切かをしっかりと捉えたうえで多様性のある講座展開が評価できる」ということで、評価している。

(会長)

この基本施策 1 につきまして何か、あるいは拡張するものがあつたら意見をいただきたい。

(副会長)

子どもに対してこの生涯学習の学びの基礎を伝えていく上では、学校との連携とか協働というのが必要になるかなと思うので、地域と学校それから行政が一体となって進めていくような取り組みについても、十分評価できるのではないかと思う。

(委員) 大変よくまとめていただいているが、もう少し具体化してもらえるとありがたい。

(事務局)

基本施策 2「誰もがいつでもどこでも学べるしくみづくり」については、「全体的に身近な問題から、広義的な問題まで広く講座を扱っており、興味のある市民を広く学びへと誘っていると考えられている」「芸術やスポーツなど、幅広い分野の事業に親子や幼児・子どもから高齢者などの幅広い世代が学べる事業が多い」「オリンピック・パラリンピックに関する事業の充実、障害者スポーツではなく、ユニバーサルスポーツとして捉え、誰もが学べるスポーツとして普及させることを期待する。また、2020 年以降の継続、持続した取り組みが必要だ」といった意見を踏まえて、評価案として、「芸術からスポーツまで幅広い分野にわたり、身近な話題から広義的な話題まで多様なテーマが扱われており、親子や幼児・子どもから高齢者など幅広い世代に対して、広く学びへと訴えている」「オリパラを契機に、市民に対する更なるスポーツの普及・啓発とともにスポーツに関する講座の更なる充実を期待する。」「ユニバーサルスポーツとして捉え、誰もが楽しめるスポーツとして普及させることが望ましいとともに、一過性の取組とするのではなく、2020 年以降も継続して取り組んでいくことが大切である」ということで書いている。

また、学びを通じた多世代との交流を「素晴らしい取組である」と評価している。具体的な例としましては、シニアボランティア子ども将棋教室について「多世代の学びを通じての交流は、高齢者には生きがいを、子どもたちには多様な視点を提供することに繋がっていることが窺える。今後も継続して取り組まれることを期待する」ということで書いている。

また、共生社会の実現に向けた取組みということで、「障害者のニーズを的確に捉えた有益な事業であると評価できる」ということで基本施策 2 の評価案とした。

(事務局)

基本施策 3 について、「生涯学習社会を実現するための人材育成講座や、各種ボランティア講座を実施し、学んだ人とその力を必要とする人とを結びつけ、活動の場や環境の場が整備されていると認められる。」

また、「人材を育成する事業テーマに市民の関心を結ぶことがとても重要である。それが、地域社会での活躍に繋がっていく。」という意見が出ている。

これらの意見を踏まえ、審議会の評価案として、「展示会やコンクールのほか、市民が参加できるフェスティバルのような、市民の生涯学習活動の成果を発表する機会を提供することで、市民一人ひとりの地域社会への参加意欲の向上に寄与していると考えられる。また、これらの事業は、新たに生涯学習活動に取り組むきっかけづくりの場としても重要な機会であることから、事業の PR 方法を見直すとともに、より多くの市民が参加できるように検討されたい。」また、「生涯学習社会を実現させるための人材育成講座や、各種ボランティア講座を多く実施していることは評価できる。」ということで記している。

(事務局)

基本施策 4 について、「市民の学習活動をサポートするための情報発信は紙媒体だけではなく SNS の活用が一層みられ、生涯学習環境が整いつつあり、また様々な相談ができる環境の整備が拡充されている。」「生涯学習情報の収集と発信ではチラシを配布しているが、本当に情報が伝わっているかが分からない。生涯学習環境の充実は、他の施策の満足度にも大きくかわる。」「放課後の学習や、活動する場がない中学生や高校生、大学生が活用できる生涯学習施設のフリースペースは、安全面からとても素晴らしい。フリースペースから生涯学習につながる何か良い試み、働きかけが出来たらよいと思う。」といった意見が出ている。

これらを踏まえ、審議会の評価案として「放課後の「学習の場」として提供する〔フリースペース〕」、こちらについては「施設の有効的な活用であるとともに、生徒の安全面から見ても素晴らしい取組である。今後は単に「場」の提供に留まらず、世代間交流や学習指導の取組のほか、生涯学習へつながるような試みを期待したい。」ということで記している。

また、「様々なメディアから不用意に不安を煽る情報が耳に入ってくることもあるが、市民に正確な情報発信と講座を提供することの重要性は、行政としても不変的である。こうした中で、学習活動をサポートするための情報発信について、SNS など紙以外の様々な媒体を活用していることは評価できる。その一方で、「生涯学習情報の収集」については事業の印象が薄い。」という評価もしている。「長年の課題であるが、各実施主体がそれぞれ発信している情報を一元化できるような仕組みを今後期待したい。」ということで最後に示している。基本施策 4 については以上である。

(副会長)

今支援課がやっている市民自由講座は情報発信が充実している。八王子市の場合はいちよう塾と市民自由講座のスケールも大きいし、この二つが発信している講座を上手く、例えば分野別に、歴史編とかあるいはスポーツ編とか芸術編など分野別に検索できるようにしてもらえば、そこに載せてほしいというような機能があれば、それも収集して、ここを見れば今八王子で来月にやる講座どういうものか、ある程度分かるように、まずは市民自由講座といちよう塾、そこから合体させて始められるといいと

思う。

(生涯学習政策課長)

全ての講座をデータベース化して、いろんな検索、条件で検索ができるようにすると
なると、まあそれなりのソフトが必要だろうと想定される。

(委員)

情報システムの改変が予定されているのかどうか、また、生涯学習関連のフォーマッ
トなど同じ様式で集まれば、あとはプログラムで曜日別、内容別、対象別とかってこ
う検索ができるようになる。その全部局のそれを統一した形でやるとなると情報シス
テムの更新の 때가 妥当ではないか。出来るところから始めていただきたい。

(副会長)

施策の方向性を見ると、「生涯学習を始めたい市民」と「学習をより深めたい市民」と
あるが、その「より深めたい市民」については学習活動をサポートするための情報発
信は非常にされているが、一方で「生涯学習」という場に、足を運んでいないとか、
何かやってみたいものの、はじめの一步を踏み出せないというような方へのステップ
になるような、発信の仕方についても是非検討していただきたい。特にこれから始め
の一步を踏み出される方っていうのは、「生涯学習」という言葉だと途端に「ああ、
自分のことじゃないな」と思う、そういう市民もいらっしやる。そういう意味では
敷居を下げた形で発信の工夫やはじめの一步をしてもらいたい。

(会長)

生涯学習を体験したとか、あるいはそこへ行ったことがあるとかっていう方は何%く
らいか。

(生涯学習政策課長)

この一年間に生涯学習活動をした方は、5割ちょっと、6割まで行かないくらい。行
政としてその割合を9割くらいに高めたいという、大きな目標がある。

(事務局)

基本施策 1 から 4、全体にわたる評価の案としては、「年間を通じて数多くの事業が
展開されており、社会の変化やそれに伴う市民のニーズに対応され、生涯学習環境は
充実しているといえる」、また個々の事業についても、「改良を重ねながら、一層の充
実を図りたい」と記している。

また、評価指標の項目は生涯学習審議会の意見を反映されて設けられているが、「今後
は、各事業で4つすべての評価指標項目により評価され、また、それらの経年による
変化がわかるような仕組みを取り入れていただきたい」ということで記している。

(副会長)

施策の方向性が4つあるが、八王子らしさが感じられない。

八王子の特徴って言うのは、学園都市八王子ということは、京都に次いで大学の数が
多いわけだから、この大学との連携とか、あるいは学生さんと市民との連携とか、こ
ういうものを今後もっと力を入れていくという表現があった方がいい。実際に施策の
方向性を見ると、大学は出てこない、1か所だけ、4番目に出てくるだけ。でも実際
には様々な事業はやっていると思う。そういうものを文章の中の表現に欲しいと感じ
る。

(会長)

街の特徴や街の特性を織り込んだ形の文章と言うか、文章に入れるかあるいは項目に

入れるかというような形でもっと取り上げていく必要があるというご意見だと思う。

【報告事項】

生涯学習プラン策定の進捗状況について（生涯学習政策課）

第4次読書のまち八王子推進計画策定の進捗状況について（中央図書館）

（会長）

本日の審議は以上で終了する。

平成 年 月 日 署 名

上会議録は事実と相違するところがないことを認め、下に署名する。

八王子市生涯学習審議会会長

八王子市生涯学習審議会委員

会議録署名人